

クレバー産業株式会社

第38期(2018年度)環境経営レポート

(対象期間：2018年9月1日～2019年8月31日)



作成日：2019年10月14日

環境経営方針

当社は日本有数の中小企業密集地・東大阪の一角にあります。
河内平野の東・生駒山の麓に位置し、工場や民家が密集した地域で有りながら、生駒山の豊かな自然にも恵まれています。
当社は薄板切削事業を通じて、自然環境や地域社会との調和を目指し、自主的かつ積極的に環境活動を全社員で展開します。

1. 環境関連法規と当社の約束事項を遵守します
2. 事業活動全般において二酸化炭素排出量の削減に取り組みます
3. 省資源・廃棄物削減・リサイクルを推進します
4. 節水に取り組みます
5. 環境に配慮した物品の購入を推進します
6. 環境に配慮したものづくりに努めます



制定日：2015年 1月5日

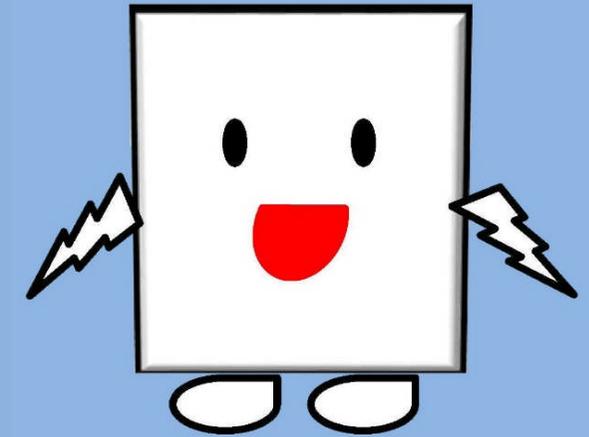
改定日：2015年11月6日

代表取締役 辰巳文吾

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
クレバー産業株式会社
代表取締役 辰巳 文吾
- (2) 所在地
本 社 大阪府東大阪市宝町15-10
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 製造部 川上 寿夫 TEL: 072-984-4627
担当者 製造部 小山 雅之
- (4) 事業内容
電子部品（プリント配線板）及び樹脂板・薄板の製造・加工・販売
主要製品：プリント配線板外形加工
- (5) 事業の規模
生産平米 17,352 m² (2018年実績)

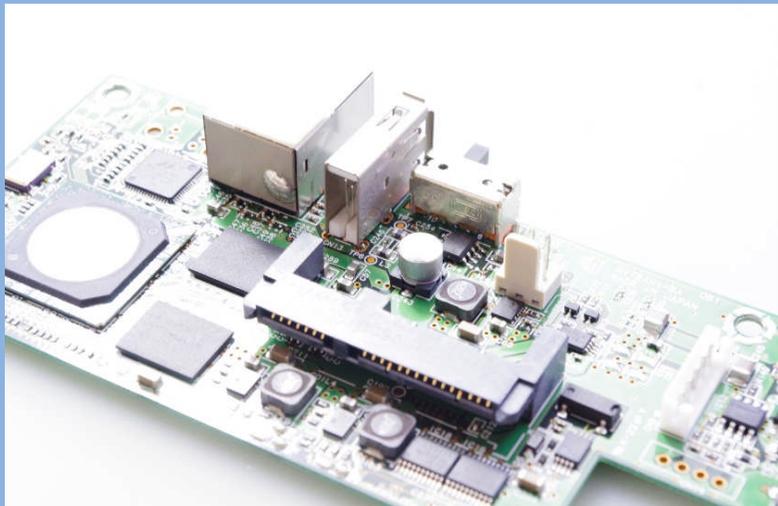
	本社
従業員	10
延べ床面積	322
- (6) 事業年度 9月1日～8月31日



当社イメージキャラクター/クレバーくん

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： クレバー産業株式会社
対象事業所： 本社
対象外： なし
活動： 電子部品（プリント配線板）及び樹脂板・薄板の製造・加工・販売



□組織図

更新日：2017年12月20日



役割・責任・権限	
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境会議の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境会議	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成、試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□当社の強み

小ロット

生産設備、作業環境に始まり加工プログラムの管理方法まで徹底した小ロット、多品種に対応出来るシステムを追求してきました。
今後も当社の力を発揮出来る領域として発展させていきます。材料支給条件であれば注文数量1枚から対応出来ます。
またフェノール材、ガラスエポキシ材、POM等は一部規格を在庫しており、極少量対応が可能です。



短納期

リピート品はもちろん、新規・変更を伴う内容であっても、柔軟且つ迅速な対応が必要と、当社は考えます。
教育訓練をクリアした作業員、定期的に改善されている無駄のない洗練された作業標準・作業環境が、「待たせない納期」を実現させます。
プリント基板製造では工程数も多く全般的に短納期です。
当社ではその他の材料を含め、条件により翌日出荷まで対応しております。



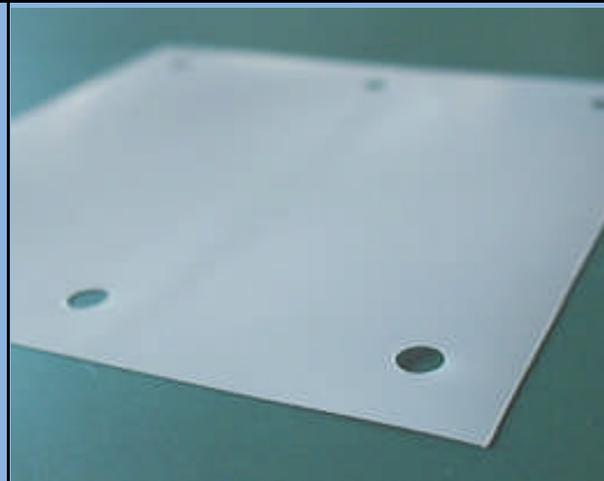
高品質

加工対象物の条件は一定ではありません。
材料による特性や、収縮・膨張・反り等、前工程で熱や力が加わった製品では尚更です。
先ず対象物の状態を理解する事、次にそれに合う条件を見極める事。
影響を及ぼす要素ひとつひとつを吟味して精度を積み上げます。
又、認証は受けておりませんがIS09001をモデルに品質管理を行っています。



薄板切削

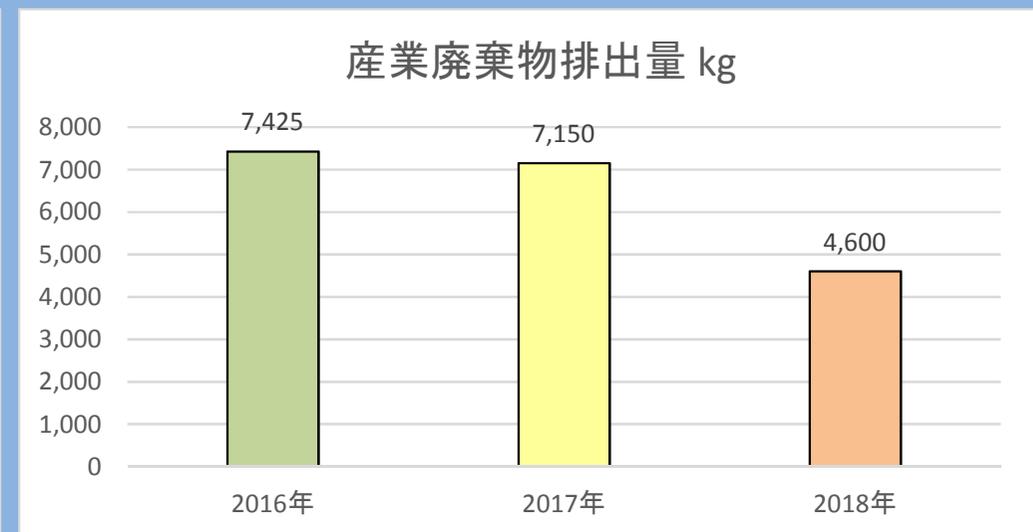
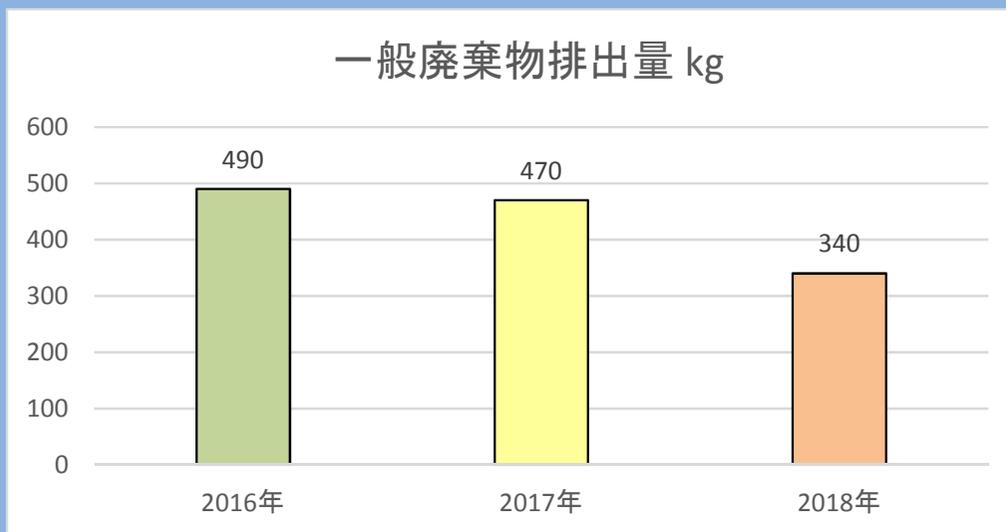
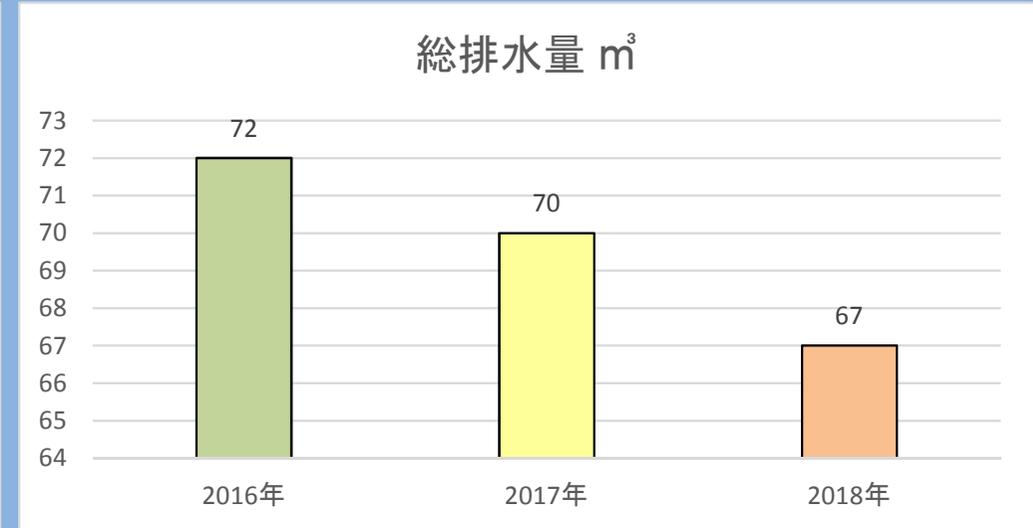
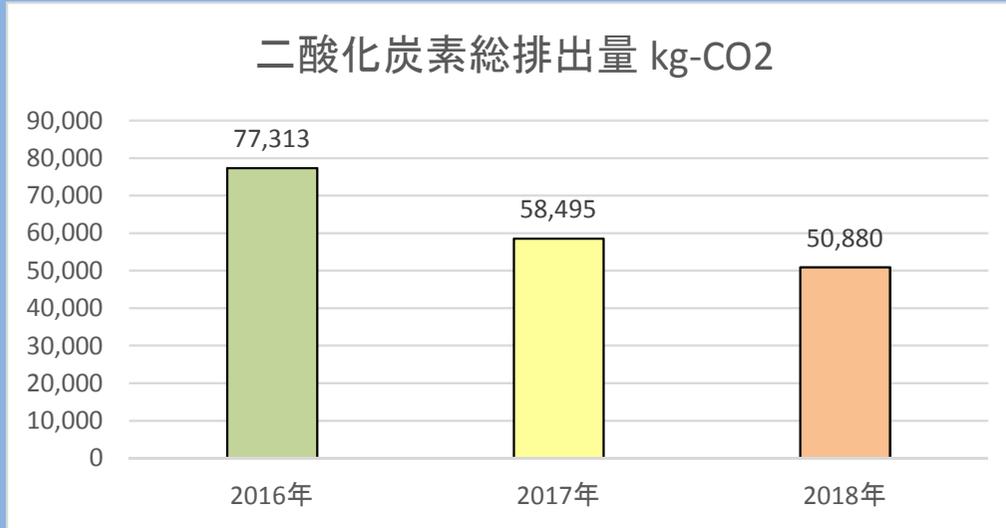
プリント配線板加工で培った高精度、高品質技術を活かし、各種樹脂、金属材においても積極的に挑戦してきました。
切削深さ(ザグリ)精度の要求される加工難度の高いものや新素材・難切削材分野での実績は他社をリードしており、取り扱う製品構成も先端技術分野のものが中心です。
プレス加工でのバリ、クラックの問題やマシニング加工では不得手な薄板切削において、高精度なルーター加工が当社の特徴です。



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	77,313	58,495	50,880
廃棄物排出量	kg	7,915	7,620	4,940
一般廃棄物排出量	kg	490	470	340
産業廃棄物排出量	kg	7,425	7,150	4,600
総排水量	m ³	72	70	67

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.400 kg-CO2/kWh



□環境目標及びその実績(目標は当初目標)

項目	年度	基準値 (基準年度)	2018年		2019年	2020年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	52,268 2014年	39,201 75%	36,471 70%	33,974 65%	31,361 60%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	16,304 2014年	14,184 87%	12,661 78%	12,228 75%	11,413 70%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	68,572	53,385	49,132	46,202	42,773
一般廃棄物の削減(紙類)	kg 基準年比	690 2014年	448.5 65%	340 49%	310.5 45%	276 40%
廃プラの削減	kg 基準年比	6,895 2014年	6,550 95%	4,600 67%	4,482 65%	4,137 60%
水道水の削減	m ³ 基準年比	103 2014年	69 67%	67 65%	66 64%	65 63%
グリーン購入の推進	% 購入比率	-	50%	37%	50%	55%
環境配慮したものづくり	-	-	活動計画による			

*灯油は少量のため、目標としていません。

*廃プラ削減の基準年度は2014～2017年の平均値。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ)
騒音・振動規制法	空圧機、空調機
大阪府自動車流入規制	バン
顧客要求事項	化学物質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等はこれまでありませんでした。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

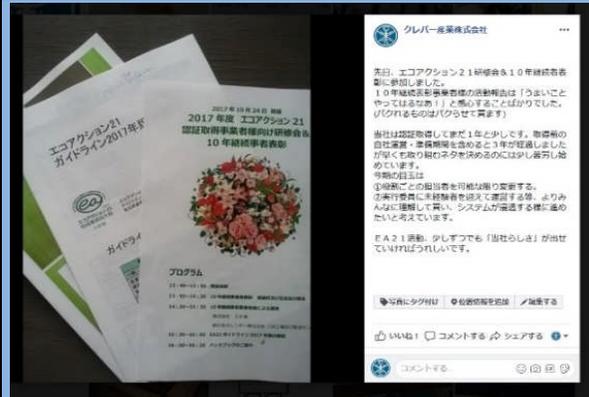
数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	○	電力使用量やデマンド値は下がり目標を達成しているが売上高原単位評価の目標は達成出来ていない。今期は仕事量が少ない影響で目標を達成出来たが来期は売上高原単位評価の目標を達成出来る様に目標を立てる。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・空調機フィルタの清掃実施	○	
・デマンドの適正な目標設定	○	
・全社電力削減手順書の遵守を実施	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	燃料購入先の移行や納品の効率化などを推進し目標を達成した。今期からテスト的に導入した燃費評価も来期は今期実績を踏まえて適切な目標値を設定する。
・エコドライブ等の運転方法の配慮	○	
・効率の良い配送	○	
・オイル・空気圧・排気ガス・騒音など適正な車輛整備をする	○	
・燃費前年比+5%	×	
一般廃棄物の削減（紙類）		
数値目標	○	梱包材の再利用、分別の徹底は来期も活動を継続する。不要なFAXの対策や印刷ミスの防止対策は効果があった。来期も活動を継続し更なる削減を目指す。
・梱包材の再利用	○	
・ミスコピー・印刷ミスの防止	○	
・印刷物は、必要最小限の量・サイズにする	○	
・分別の徹底	△	
廃プラの削減		
数値目標	○	不良に対する意識付けを行ったが目標の達成は出来なかった。来期は作業ミスに限定せず不良全体を目標にする。修繕費はミーティングで事例をあげ議論し注意点などを共有した結果、ほとんどの月で「ゼロ」を達成した。来期は活動目標を変更し廃プラの削減を目指す。
・作業ミスによる廃棄量の削減	×	
・定期点検による修繕費の削減	○	
水道水の削減		
数値目標	○	当社事業では水の使用量が少なく現状維持の活動を継続していたが、個々の節水意識により目標を達成出来た。来期も現状維持目指す。
・水を使用する際は節水を心掛ける	○	
・水道配管の漏水を定期的に点検する	○	
グリーン購入の推進		
数値目標	×	同一製品ではなく類似製品でよりエコな品物などを選び購入していたが購入品の絶対数が少なく成果には繋がりにくい。来期よりグリーン購入項目はなくなるが活動は継続する。
・事務用品グリーン購入比率50%	×	
・省エネ性能の高い製品の購入	○	
環境配慮したものづくり		
	○	今期実施した「環境プレゼン大会」では各自プライベートでも環境活動の意識が芽生え環境活動が少しずつ浸透している事が確認できた。来期はガイドライン移行により経営指針書に基づいた目標が設定される。環境活動で大きな効果は期待できなくなっているが地道な活動を継続し、協力して目標に向かう事が必要になる。
・不良損失を計上し不良の抑制する	△	
・製造経費を発表しコスト削減に努める	○	
・顧客クレーム発生件数を掲示する	○	
・会議で知識を共有し作業向上につなげる	○	

□環境活動の紹介

Facebookで活動を発信



環境を中心とした当社の活動をFacebookページにて発信中！
更新は毎週木曜日14：00です。

環境プレゼン大会を実施



各自が担当している活動をプレゼンテーションする企画。
エコアクション21を通じて自身に起こっていた環境に対する意識の変化を確認する時間となった。

エアコン室外機の日除け



2018年の台風第21号により大破した室外機の日除けをDIYで作り直しました。

□当社屋上より撮影



□代表者による全体の評価と見直し

大半の項目で目標達成となったが、達成要因に大幅な売上低下による消費減があげられる。
売上低下＝生産量減で効率生産を維持しきれなく、売上高原単価評価では目標達成出来なかった。
このように厳しい状況下ではあったが、環境活動の中身は、進化させる方法を追求して、より良くなった。
①なぜ環境経営が必要なのか目的意識を持って貰える様、環境会議に各社員を招き議論した。
②全体討論会を設けて全社員参加を推進した。
③担当者各自の目標達成手段レビューに工夫した結果、数値だけでなく過程も重視する様になり、幾つもの小さいP D C Aを回せる様になった。

□環境経営方針の見直し

当社は環境活動当初より経営指針に環境項目を設定し、年度方針を立てて取り組む展開をしている。
新しいガイドラインに沿った「より経営に繋がる活動」という点においても調和している。
今後もこのやり方を継続し、より環境活動を深めていきたい為、次年度から次の環境経営方針を適用する。

環境経営方針

当社は日本有数の中小企業密集地・東大阪の一角にあります。
河内平野の東・生駒山の麓に位置し、工場や民家が密集した地域で有りながら、生駒山の豊かな自然にも恵まれています。
当社は薄板切削事業を通じて、自然環境や地域社会との調和を目指し、自主的かつ積極的に環境活動を全社員で展開します。

1. 環境関連法規と当社の約束事項を遵守します
2. 事業活動全般において二酸化炭素排出量の削減に取り組みます
3. 省資源・廃棄物削減・リサイクルを推進します
4. 節水に取り組みます
5. 経営指針書に基づく環境目標の達成に努めます
6. 環境に配慮したものづくりに努めます



制定日：2015年 1月5日

改定日：2019年9月2日

代表取締役 辰巳文吾